

いながわ特派員

最近、ペットを飼っている家庭が増えていきました。ペットとの暮らしが生活の中に定着し、道を歩いていると犬と散歩を楽しんでいる人を見かけます。「動物はどうも苦手です」という方もおられると思いますが、ペットを飼ってみたいと考える人は決して少なくないでしょう。

今月は、色々な種類のペットの中から代表的な犬と猫を飼っている方のお話を聞き、犬や猫を飼う楽しみを伺いました。

ジェニー・ボール (原・寺岡さん)



ボールは首と体は大きいけれど、気が小さく、ジェニーはスリムで好奇心旺盛です。それぞれ性格が違っていてもいいのですが、私も母もボールジェニーがかわいくてしかたがありません。父も以前は犬派でしたが、猫の良さがわかり、今ではすっかり猫派です。



パニラ (藤・野さん)

パニラはわがままで甘えん坊です。人が来ると隠れてしまって姿を見せてくれなかつたりしますが、パニラがいることで家族の会話がはずんだり、心が休まったりします。

パニラの他に、ウサギのマロンも飼っています。



ルイ・キイ (林田・田村さん)

今年の6月に5匹の赤ちゃんを生んだルイは、子供を早くひとり立ちさせようと、エサの取り方を教えています。ときには、愛のむちで子供をたたきつけてあげます。

こんな、かわいい猫たちに囲まれて暮らすのはとても楽しいです。



ラン・ベル・もも子・一郎 (柘原・宮田さん)

ベル・もも子・一郎の三匹は、玄関のチャイムが鳴ると「キャンキャン」と吠えて「いらっしゃい」と挨拶します。

私が仕事から帰ると、全員の「おかわりコール」が迎えてくれるので、仕事の疲れも飛んでしまします。

ランは、愛らしくておとなしい性格です。きれいなシルバークートと水晶玉のようなミステリアスなひとみが気に入っています。普段から毛の手入れのために、美容院にもよく行きます。最近ボーイフレンドができました。

おもしろ川柳

今回のテーマは「ペット」

ロッキーちゃん君にはあまひママとなり

凄く美女抱いてるペットに代わりたい

フン拾う亭主子育て妻まかせ

来月のテーマは「目標」です。

応募方法は、十二月二十六日までにハガキで町長公室広報課へ。

日野ゆう子 荻葉



とびつきり 特派員 上田 美佐子



特派員 小林 悦子

ショウスケ (松尾・生駒さん)



ずっと大型犬を飼っていたので、ショウスケが初めての小型犬です。

ショウスケは、3歳ぐらいの子供を育てようような感じですが、毎朝夫が散歩をさせていて、運動不足解消に役立っています。



シゲ (若葉・藤塚さん)

シゲは、4カ月半のやんちゃ盛りです。人間と同じように育てていますが、散歩中などに人に迷惑をかけることがないように、飼い主の責任を守ることを心がけています。また、犬の病気などにも気を付けていきたいと思っています。



フェンディ (松尾・豊さん)

フェンディは、何かをくわえて散歩するのが大好きです。今日も木の枝をくわえて散歩しています。水に入って遊ぶのも大好きです。人を恐がらせたり飛びついたりしないように気をつけています。



マイロ (柘原・尚さん)



マイロは、鼻ぺちゃの顔とつぶらな瞳で、どこか人間に近い豊かな表情が可愛い犬です。

昔見た映画の中に登場した、利口な犬の名前にちなんで命名しました。すこし落ちつきがないけれど、とても元気いっぱいです。

愛嬌たっぷりのマイロは「大切な家族の一員」です。

リュウ (三尋・留さん)



リュウは、「101匹わんちゃん」と同じ種類の犬です。

今日は、いながわまつりに帽子、洋服、リュックのおしゃれをして遊びに来ました。好物はクリやみかんと少し変わっています。お風呂も大好きで週に2回入っています。

編集後記

とが、手に取るように分かりました。犬や猫のしぐさを見てみると、ほほがゆるんで、ほんわかした気持ちになります。彼らは私たちの心をやわやわと包みこんでくれているのです。

でも、自分にとっては、どんなにかいいペットであっても、飼う方をまぢがえれば、他人にとってただの迷惑の対象でしかありません。犬の鳴き声や、犬糞の置き場所などペットにまつわるトラブルもよく耳にします。ペットを飼う人は、まず自覚と責任をもち自分の飼う動物の習性を知ったうえで飼うことが大切です。

ペットを飼う人も飼わない人も社会の共生のため、ルールとマナーを守って、お互いに気持ちよく暮らしたいものです。

【いながわ特派員】

とがのご家族も、ペットを家族の一員として大切に育てています。